

赤十字防災ボランティア養成セミナーを開催しました

埼玉県支部では、10月1日～2日の2日間、「赤十字防災ボランティア養成セミナー」を開催しました。地震や風水害などの災害が発生した際、日本赤十字社は被災地に医療救護班を派遣し、切れ目のない救護活動を展開しています。赤十字防災ボランティアは、日本赤十字社の救護活動の重要支柱の一つとして位置付けられており、ボランティアによる救護活動が円滑に展開できるよう、各都道府県支部で養成しております。当支部では年に3回のセミナーを通じて赤十字防災ボランティアを養成しており、今回は第2回目でした。

今回のセミナーには33名が参加し、延べ21名のスタッフ(赤十字防災ボランティアリーダー・同地区リーダー他)と共に、赤十字の防災ボランティア活動について理解を深めました。セミナーは講義と実技で構成され、講義では「赤十字と災害救護」や「赤十字と防災ボランティア」、「水と食料」について学習しました。実技では初日に救急法の基礎を学習したほか、二日目は実際に即したボランティアセンターを運営し、救援物資の搬送や炊き出し、テント設営、要援護者支援、ロープワーク、情報収集等のニーズに対して適切に応えるシミュレーションを行いました。

参加者からは「講義と実技の双方で赤十字の防災ボランティアについて学ぶことができ、有益であった」「災害が発生したときは自分にできることを行いたい」との意見が聞かれました。セミナー修了者は赤十字防災ボランティアとして登録され、いざというときの活動が期待されます。



救援物資の搬送をするセミナー参加者



車いすの使用方法について学ぶセミナー参加者



テントの設営をするセミナー参加者

奉仕団活動紹介

埼玉県子育て介護赤十字奉仕団5周年記念行事 :さいたま市防災センターを見学!!

私たち埼玉県子育て介護赤十字奉仕団(愛称:たんぼぼ)は本年10月をもって発足5周年を迎えることができました。団員も50名を超え、10月1日(土)に記念行事として、さいたま市防災センターの見学と体験学習へ行ってきました。今回の体験は、震度7の揺れを体感できる地震体験、火災時の煙の怖さを知る煙体験、模擬消火器を使用した初期消火体験などでした。

たんぼぼの委員長の長嶋さんは、今後の活動について「東日本大震災を教訓に災害時高齢者生活支援講習を普及していく中で、日常の防災の大切さをさらに感じたひと時でした。これからも様々な方々のお知恵をお借りしながら一歩ずつ進んでいけたらと願っています」とおっしゃっていました。

皆さんも、講習会にご参加いただいた後は、是非たんぼぼに入団ください!

※たんぼぼは日本赤十字社の『健康生活支援講習』または『幼児安全法講習』の講習会を修了した人たちが集まって、講習会で学んだことを土台に、さらに魅力ある講習会をするために勉強会を開催したり、県内の病院等で外来患者さんに対してのセラピュー活動等の奉仕活動を行うために結成された赤十字奉仕団です。



さいたま市防災センター前でいっしょに記念撮影



初めての消火体験、火を消せて一安心